

どこの離島でも たえ短時間の滞在でも 船でその島を去る時は 何とも言えないなつかしさと郷愁を覚えるものです 舢倉島（へぐらじま／石川県）でも飛島（山形県）でも甌島（こしきじま／鹿児島県）でもそういう感情を覚えました 今回訪れた沖の島（高知県宿毛市）もそうでした 特に沖の島では多くの島の方々との交流があったので尚更です 連絡船のデッキから去り行く島影を一枚描いておきました



これが完成した絵です



1、この日はあまり天気が悪くなかったので 雲を滲ませて描きました



2、主題の島影は シャドウ・グリーン（深緑）に少し黒を混ぜました



3、島の海岸線の下部は 「赤っぽい花崗岩」なので 黄土色を主に塗りました



4、島の左端には尖峰があります こういう特徴的な地形はよく見て描きます



5、船舶がつくる波はなかなか難しいです 白い波頭は一生懸命に塗り残します



6、波（うねり）は「青」ではなく「深緑」のほうが雰囲気が出ます